

## 11.5 つどう2地縁アンケート抄—Q. 私の地縁集団—

Facebook「とある民俗学講師の補足メモ」

- \* 環境維持：火の用心、防災訓練、道路用水等の清掃、寺社の管理、廃品回収、回覧板、募金…
- \* 子供関係：通学路パトロール、集団登校、ラジオ体操、運動会等、子供会…
- \* お祭り（とんど、夏祭り、盆踊り、地藏盆、秋祭り、スポーツ大会…）と冠婚葬祭（葬式、結婚披露…）
- \* 新しい地縁組織：新興住宅地、マンション、社宅、グループハウス…旧住民と新住民の二重構造化
- \* 限界集落、限界コミュニティ／交流人口

【いろいろ】福井県鯖江市中野町出口木引区では、多くのことを行っている。絶対参加のものは四つある。一つ目は、堤防の草刈り、溝掃除、ゴミ拾いを行う年二回の社会奉仕。二つ目が、月一回の出口木引公民館の掃除。これは順番に行うため、個人では年二回程度になる。三つ目は、イノシシの電気柵設置と見回り。冬以外週一回で行われる見回りは、順番に回るため個人では年一回になる。四つ目は、ゴミ当番である。九か月に一回程度で順番が回ってくる。

【回覧板】私の住んでいた愛媛県東温市南方の住宅街では、「組」というものがあり、回覧板を回すなどして情報伝達をするグループがありました。私が小学生くらいだった頃には近隣の組の合同でこども会などのイベントを定期的に行っていましたが、現在では地域の子どもの数が大きく減少し、もの寂しくなっています。私の両親は今年、組長の役割をすることになっていますが、子どもが大きくなった今では組に所属する意味があまり無くなってきたため、今年が終わると脱退しようかと先日話していました。

【清掃】私は兵庫県明石市にある団地に住んでいたのですが、そこでは芝刈や溝掃除が住民によって行われていました。不参加の場合はお金(1000-3000円ほど)を払わなければいけないそうです

【消防】私の生まれ育った高知県大月町柏島では、若者や中年の男性が消防団を組織している。父いわく、男性なら半強制で入団するようで、父も数年前まで所属していた。消防団は本物の消防車を2台も持っているが、団員は普段特に訓練もしていないので、本当の火事を消火できるのか分からない。主な活動は火の用心を呼びかけで、冬の乾燥する時期になると、夜、拍子木を鳴らしながら大声で「火の用心～」と言って回る。私も小さい頃はよく参加させてもらっていた。

【子ども】私の住む大阪府河内長野市では町単位でそれぞれ順番に「見守り隊」という、子供の登下校の見守り？保護活動を行っています。あらかじめ立つ場所は各小学校別に決められており、主にPTAの会議によって決定がなされるそうです。時期は小学校の授業がある日全てであり、時間帯は登校する7:30から9:00、下校時刻の3:00から6:00となかなかハードなスケジュールとなっているそうです。しかしそのおかげで子供が犯罪に巻き込まれる確率が格段に減ったそうです。私も子供の頃は見守り隊によって守られたので、無事に成長することができ、今ではとても感謝しています。

【冠婚葬祭】私の実家は平成の大合併で広島県廿日市市に吸収された旧佐伯郡大野町にある。旧大野町は全町域を1~10区と10の区画に分けてそれぞれに△区集会所を設け、その下に10~15軒前後の組に組織していた。この△区〇〇組という形が所謂町内会的組織となり、最小の地縁集団を形成していた。合併後もこれを引き継いでおい。(中略) 通夜や葬儀は集会所で行い、故人と同組の女性が参列者を接遇し、男性が駐車場の誘導を行っていたが、自分の組では葬祭会館ができた2000年代以降は一度もしていないそうである。名残として今でも町内放送で「△区〇〇組の何某さんが亡くなりました。葬儀はいつ・どこで行われます」と放送する習慣が残っているが、今ではその大半は葬儀の場所が葬祭会館だというので、集会所で葬儀をしない流れは自分の組だけではないとのことである(母談、以下略)。

【鬼火焼き】私の故郷である長崎県大村市玖島では、町内会に所属している住民が毎年1月に熊野神社という神社の境内を掃除した後、鬼火焚きを行う。鬼火焚きとは門松などの新年の飾り物を集めて焼く行事のことであり、無病息災を願って行うものだ。鬼火焚きの火で餅を食べたり、豚汁を食べたりするのだが、非常においしかったことが印象に残っている。

【祇園祭】祖父母の実家のマンションは、京都市の四条通りのすぐ近くにある。祇園祭の際は、祭りに使用する備品の運び出しをマンションの住人総出で手伝わなければならないそうで、中3のいところが不満そうだった。祖父母は、祭の当日、お手洗いを探す観光客がマンション内や周辺の施設に無断で立ち入ろうとする行為に困っているようだった。

【新興住宅地】私の住んでいる滋賀県大津市比叡平は、ベッドタウンとして40年ほど前に作られましたが、少子高齢化が進んでいます。そのため、地域活動の主体は若者ではなく高齢者です。比叡平は1から3丁目まであり、基本は各丁の自治会が地域活動を行っています。すべての自治会で共通しているのは小学生の登下校の時間に、交通量の多い場所に立ち子供達が事故に巻き込まれないようにすることです。比叡平には信号がないため、この取り組みは大切です。また、3丁目、蛸狩りを行います。3丁目自治会の人たちが暗い中、転ばないように歩道脇に灯籠を設置し、その一つ一つの灯籠を覆う紙に比叡平小学校の生徒が描いた絵が使われる場合もあります。

【社宅】私の実家は銀行の社宅で、5階建の集合住宅が3棟建てられています。私の家族は3号棟に住んでおり、父親はその棟の自治会の会長を務めていて、備品の管理、補充や定期清掃の主導など色々な業務があるそうです。なかでも特に大変な仕事が各部屋の水道メーターを記録するというものだそうです。各部屋を回るために5階分の階段を上り下りしなくてはならず、年齢もあってとてもしんどいそうで、今度帰省した際には手伝ってあげようと思いました。

【マンション】那覇市にある私の一家の住むマンションでは理事会が開かれています。理事会では築20年ほどになるマンションのメンテナンスなどが議題になる。最近入口のシャッターが老朽化してきており、設備の維持のため非常に高額な費用が必要となっている。防犯性の高い高額なシャッターを使い続けるか否かは、住民の間で意見の分かれる所である。

【新旧住民】私の実家がある群馬県前橋市上泉町では、町の自治会があり、神社の管理、町おこし、子ども会の運営などを行っている。この町はかなり広く、人口も多いため、自治会の下に9つの区がある。その区ごとに3年に1回の神社の祭で神輿や山車を出す。区ごとに夏休みにラジオ体操をやっており、私も幼い頃参加した。その下に十数班が構成されている。班は隣組のようなものである。両親によれば、その班ごとに回覧板を回すのが主な機能であるほか、年1回、町内清掃として側溝掃除をする。これは班員全員が顔を合わせる貴重な機会で、班員の無事を確かめられるそうだ。しかし、最近は畑の宅地化が進み、どんどん若い世代が引っ越してきていて、なかなか顔を合わせず、清掃にも参加しないお宅もあって、心配しているとのことである。

【!】祖父の生家がある兵庫県丹波篠山市北では、寺の檀家であり神社の氏子である24軒からなる自治会（通称：（旧）北村）がある。北村では、寺や神社の定期的な清掃、餅撒きや夏祭りを担当する他、北村所有の墓地の掃除などを行い、月1回は溝堀りといって、田畑の用水路の泥や詰まりを掻き出す仕事を一斉に行う。また、正月中に伊勢神宮へ参拝しに行ってお礼をもらってくる「伊勢講」もあり、その際には新年のお祝いがてらみんなで飲み食いをする。北村の24軒のうち、名字が「酒井」「渋谷」の家だけの「稲荷講」という役割があり、寺の横にある小さな稲荷神社に週交代でお供えをしに行く。そんな北村も現在では1軒が潰れて23軒、そのうち3軒は施設に入居したり子が県外にいたり空家になっており、実質20軒。さらにそのうち2軒は子どもがおらず、将来的に18軒以下になる。先細りになっていく北村だが、現役世代（60代over）たちはできるだけ続けて行きたいと考えているようで、私の母も毎週末、祖母の様子を見に行きがてら集会や溝堀りに参加している。私も将来的には北村に住み、この営みを続けていきたい。